Avision

ユーザーズマニュアル

Regulatory model: **FF-0609H**

Avision Inc.

商標

MicrosoftはMicrosoft Corporationの米国での登録商標です。
WindowsおよびMS-DOSはMicrosoft Corporationの商標です。
IBM、PC、AT、XTはInternational Business Machines Corpの登録商標です。
ENERGY STAR®はアメリカの登録商標です。
本マニュアルでのその他ブランドや製品名は各社の商標または登録商標です。

版権

全権保留。Avision Inc の書面による事前許可がない限り、電気的、機械的、磁気的、工学的、化学的、手書き又は他のいかなる方法でも当出版物の一部の複製、転送、転写、記憶装置への記憶、他国語またはコンピューター言語への翻訳はできません。

当製品によりスキャンされた内容は、国の法律やその他規制、例えば著作権法などで保護されている場合があります。ユーザーの皆様がそれら法律や規制を遵守する責任を有します。

保証

当マニュアルに含まれた内容は予告なしに変更される場合があります。

Avisionは本マニュアルの内容に関して、商品性および特定の目的に対する適合性を含む保証を、明示たると黙示たるとを問わず一切いたしません。

Avisionは当マニュアルの誤りや、本書の設置、操作、使用に関連した偶発的または因果関係による損失に関する責任は負いかねます。

FCC 無線周波数干渉通知

本機器は、無線周波エネルギーを生成、使用および放射します。製造元の取扱説明書に従わずにインストールおよび使用した場合、ラジオおよびテレビの受信に有害な干渉を及ぼす原因になります。本機器は、テストの結果 FCC 規則 15 上に順ずる Class B デジタル デバイスの制限にしたがっていることが認められています。 これらの制限は、本機器が居住地域においてインストールされた時に、有害な干渉に対する適切な保護を提供するためのものです。ただし、特別なインストールを行った場合、有害な干渉の原因にならないことは保証できません。本機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を及ぼす原因かどうかは、本機器をオンとオフに切り替えることにより確認することができます。本機器が原因の場合、次の方法をいくつかお試しになり、干渉を修正するようお勧めします:

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 本機器と受信機の位置間隔を変える。
- 本機器を受信機が接続されている回線とは別のコンセントに接続する。

必要な場合、販売元又は熟練したラジオ/テレビ技師にお問い合わせください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

個人ユーザによる使用済み機器の廃棄について

製品またはその梱包物にこのマークがある場合、当該製品をお客様の家庭廃棄物と一緒に廃棄することはできません。健康や環境保護のために、リカバリやリサイクルの際には専門施設に当該製品をお送り下さい。使用済み機器をリサイクルする場合の廃棄場所に関する詳しい情報は、お住まい地域の市役所や家庭廃棄物処理業者、または製品の購入店にご相談下さい。

ENERGY STAR®のパートナー企業として、Avision Incは本製品をエネルギー効率に関するENERGY STAR®のガイドラインに準拠させています。

システム要件

- IBM互換PC Pentium III 600またはそれ以上
- Microsoft Windows 98SE / Me / 2000 / XP
- USBポート(USB 2.0カードでのみ高速度をサポート) (USB 1.1互換)
- 最低100MBのハードディスク空き容量
- 最低128 MBのシステムメモリ
- CD-ROMドライブ1台

目 次

1. 製品紹介 1-1

2. スキャナーのインストール 2-1

2.1 ADFペーパートレイのインストール 2-2
2.2 ADF出力ペーパートレイのインストール 2-3
2.3 フロントトレイのインストール 2-4
2.4 ケーブルの接続 2-5
2.4.1 電源の接続 2-5
2.4.2 電源の投入 2-5
2.4.3 ソフトウェアのインストール 2-6
2.4.4 コンピュータへの接続 2-8

3. 初めてのスキャンを行う 3-1

3.1 文書のセット 3-1
3.1.1 ADF使用時の注意 3-1
3.1.2 ADFペーパートレイへの文書のセット 3-2
3.1.3 ドキュメントをフロントレイに設置 3-3
3.2 スキャナのインストールの確認 3-4
3.3 ユーザインタフェースの一覧 3-8

4. [スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスの使い方 4-1

4.1 [スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスのボタン 4-2
4.2 画像タブ 4-4
4.2.1 画像選択ボックス 4-5
4.2.2 その他の画像オプション 4-7
4.2.3 カラー画像のスキャン 4-13
4.2.4 グレイスケール画像のスキャン 4-14
4.2.5 白黒画像のスキャン 4-14
4.2.6 プロファイルの編集 4-15
4.3 圧縮タブ 4-18
4.4 ドロップアウト カラー タブ 4-20
4.4.1 ドロップアウト カラーの選択 4-20

4.4.2　その他のドロップアウト カラー オプション 4-21
4.5　用紙タブ 4-23
4.5.1　切り抜き 4-24
4.5.2　その他用紙選択 4-27
4.5.3　ドキュメントに基づく 4-33
4.6　プレビュータブ 4-36
4.7　オプション タブ 4-37
4.8　設定タブ 4-42
4.9　情報タブ 4-44

5.　ISISインタフェース操作 5-1

6.　ボタンを使う 6-1

6.1　ボタンマネージャのインストール 6-2
6.2　スキャン前のボタン設定の確認 6-3
6.3　ボタンワンタッチからのスキャン実行 6-5

7.　お手入れ 7-1

7.1　ADFの清掃 7-1
7.2　ガラスのお手入れ 7-2
7.3　スナップインパッドモジュールの交換 7-3

8.　トラブルシューティング 8-1

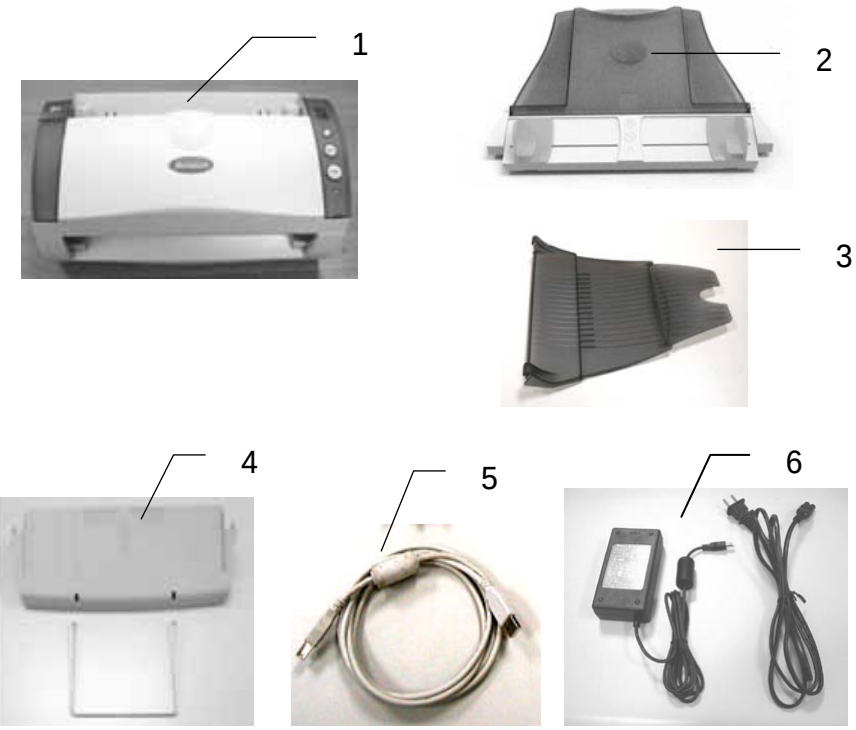
8.1　紙詰まりの除去 8-1
8.2　質問と答え 8-3
8.3　テクニカルサービス 8-5

9.　製品仕様 9-1

1. 製品紹介

お買い上げのスキャナーをインストールして使用される前に、当マニュアルを少しの時間を割いてご覧ください。 このスキャナは、自動用紙フィーダーまたはフロントレイから素早くスキャンを実行することができ、電子画像をコンピュータに保存することができます。 これで、スキャナーの開梱、インストール、操作およびお手入れに関する正しい手順が示されています。

下図にはパッケージ内容が示されています。チェックリストの項目が全てあるかチェックしてください。欠けている物がある場合は最寄りの正規販売店にすぐ御連絡ください。



1. **メインユニット**
2. **ADFペーパートレイ**
3. **フラットベッドペーパートレイ**
4. **フロントトレイ**
5. **USBケーブル**
6. **電源アダプタ /電源コード**

ご注意：

1. *当装置に同梱のACアダプタ (HEG42-240200-7L，Hitron製 /SA148A-24V/SA60-24, Sino-American製) のみをご使用ください。他のACアダプタの使用は装置の故障の原因となりますし、保証事項が無効となります。*
2. *パッケージを丁寧に開封し、チェックリストに従って品目をチェックしてください。欠けていたり故障しているものがあれば、すぐ販売店に御連絡ください。*

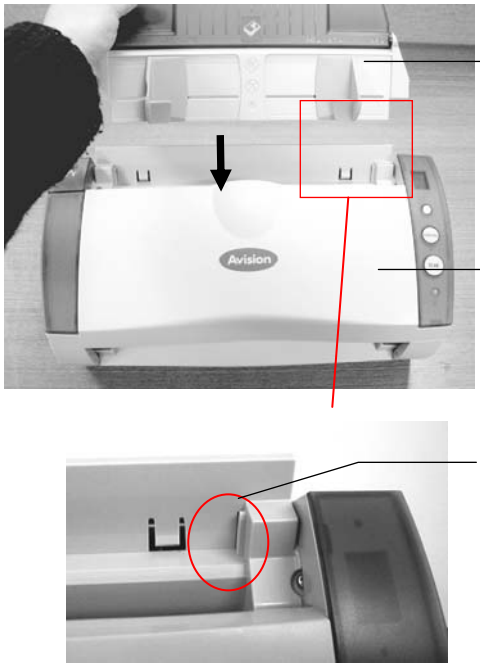
2. スキャナーのインストール

ご注意

- スキャナーを直射日光にさらさないでください。直射日光または高熱にさらすとユニットの故障の原因となります。
- スキャナーを湿気または埃の多い場所に置かないでください。
- 適切なAC電源をご使用ください。
- スキャナーは水平でなめらかな面に置いてください。傾斜や凹凸のある面では機械や給紙の問題が生じる可能性があります。
- スキャナーの箱および包装材料は後での梱包用に保存して置いてください。

2.1 ADFペーパートレイのインストール

1. 下図のようにADFペーパートレイをスキャナーのクリップジョイントに差します。カチッと音がします。



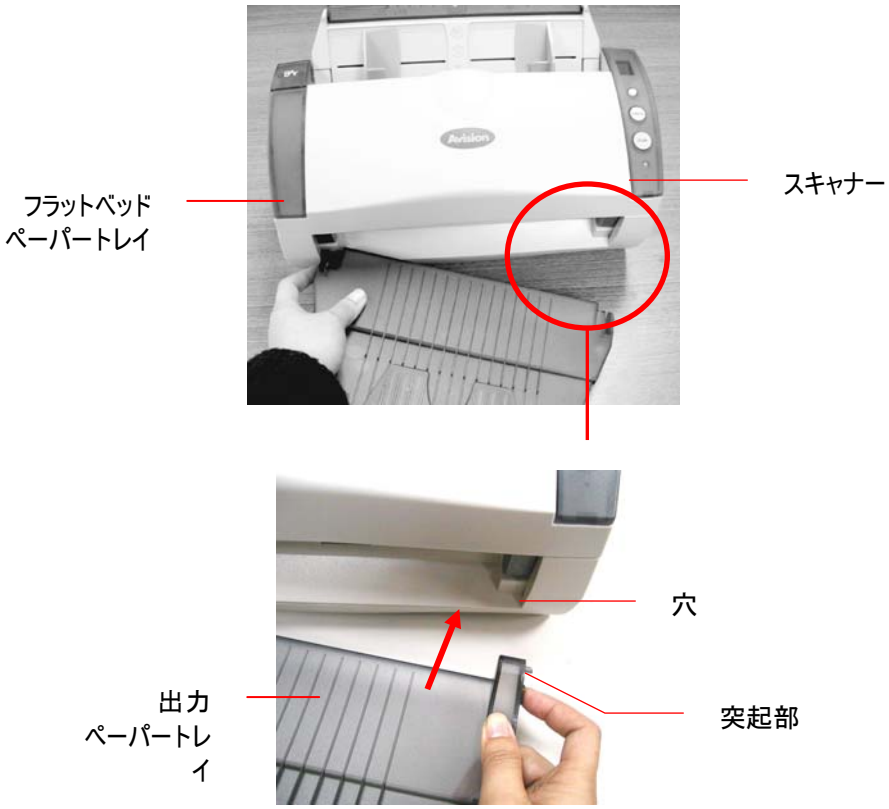
ADFペーパートレイ

スキャナー

クリップジョイント

2.2 ADF出力ペーパートレイのインストール

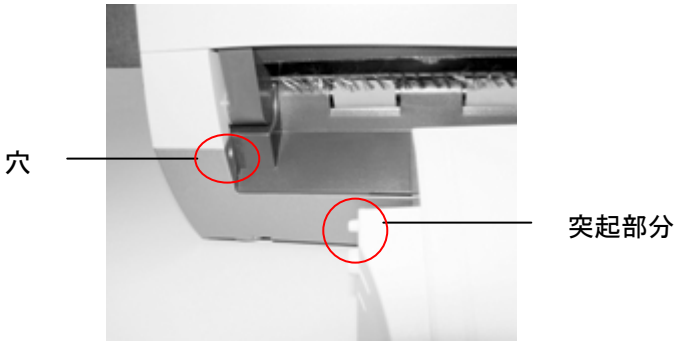
1. 下図のように出力ペーパートレイを約30度の角度で持ちます。
2. 出力ペーパートレイ右側の突起部をスキャナー正面の穴に入れます。
3. 出力ペーパートレイ左側の突起部をスキャナー正面の穴に入れます。

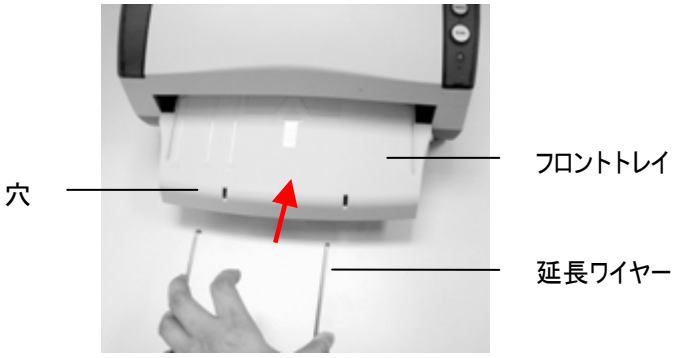


2.3 フロントトレイのインストール

フロントトレイから給紙する場合、ADF 出力トレイを取り外し、フロント用紙トレイを取り付けてください。

1. フロントトレイの左側の突起部分をスキャナ前面の穴に挿入します。
2. 右側の突起部分を押し、スキャナの穴に合わせます。
3. 延長ワイヤーをフロントトレイの穴に挿入します。



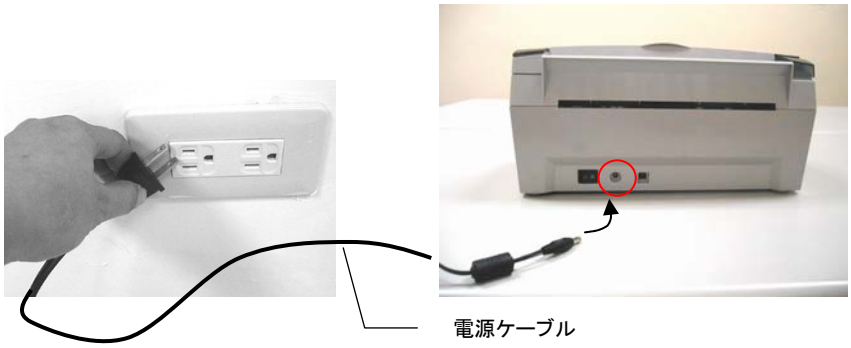


2.4 ケーブルの接続

スキャナーの電源がオフになっていることを確認してください。

2.4.1 電源の接続

電源アダプタの小さなプラグをスキャナーの電源ジャックに差します。他端は適切な電源コンセントに差します。



2.4.2 電源の投入

1. 電源ケーブルおよびUSBケーブルを接続し終えてから、電源スイッチを“I”の位置に倒してスキャナーの電源をオンにします。スキャナーをオフにするには、電源スイッチを“O”の位置にします。

2.4.3 ソフトウェアのインストール

1. 付属のCDをご使用のCD-ROMドライブに入れます。下図のようなインストールメニューが表示されます。
2. “Install Scanner Driver (ドライバのインストール)”をクリックしてTWAINまたはドライバをインストールします。

3. スクリーン上の指示に従って各アプリケーションをインストールしてください。

インストールグラフィックのコンテンツ:

- **ボタンマネージャのインストール**: スキャナのボタンを使うには、ボタンマネージャをインストールする必要があります。ボタンマネージャが正しく作動するため、まずスキャナドライバをインストールする前に、ボタンマネージャをインストールしてください。

- **スキャナドライバのインストール:** スキャナとの通信を行うには、スキャナドライバをインストールする必要があります。ボタンマネージャソフトウェアをインストールした後、**[スキャナドライバのインストール]** をクリックし、コンピュータにスキャナドライバをインストールします。

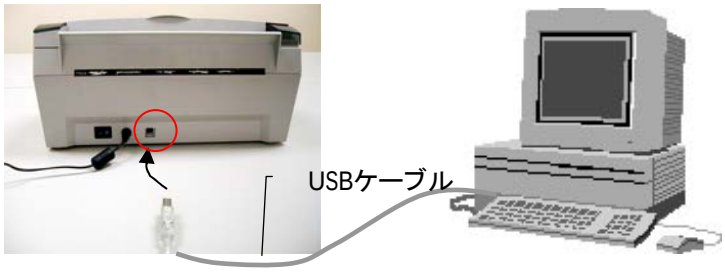
- **Adobe Reader のインストール:** スキャナとボタンマネージャの PDF 版ユーザーズマニュアルをご覧になるには、Adobe Reader が必要になります。Adobe Reader がすでにコンピュータにインストールされている場合はそのまま進んでください。

- **マニュアルの表示: [マニュアルの表示]** をクリックし、スキャナまたボタンマネージャのユーザーズマニュアルを表示したり、印刷したりできます。

4. **[ボタンマネージャのインストール]** をクリックしてボタンマネージャをインストールし、**[スキャナドライバのインストール]** をクリックしてコンピュータにスキャナドライバをインストールします。

2.4.4 コンピュータへの接続

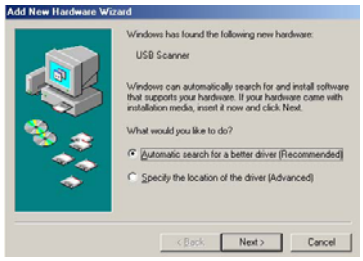
1. USBケーブルの**正方形型の端子**をスキャナーのUSBポートに接続します。**長方形型の端子**はご使用のコンピュータのUSBポートに接続します。



2. コンピュータはこのUSB装置を検出して “New Hardware Found (新しいハードウェアが検出されました)”というメッセージを表示するはずです。

(Windows 9X/Windows ME)

3. Windows 9XまたはWindows MEでは、“Search for a better driver. (現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する)”が選択されていることを確認し、“Next (次へ)”ボタンをクリックします。


Add New Hardware Wizard
Windows has found the following new hardware:
USB Scanner
Windows can automatically search for and install software that supports your hardware. If your hardware came with installation media, insert it now and click Next.
What would you like to do?
Automatic search for a better driver (Recommended)
Specify the location of the driver (Advanced)
< Back
Next >
Cancel

Windows XPでは、**Next(次へ)**のボタンをクリックして続けます。

4. 処理中にWindows XP認証画面が表示されます。この内容は無視して **“Continue Anyway (かまわず続ける)”**を選択してインストールを続けます。

5. **Finish (完了)**ダイアログボックスが表示される時、**Finish (完了)**ボタンをクリックします。

3. 初めてのスキャンを行う

3.1 文書のセット

3.1.1 ADF使用時の注意

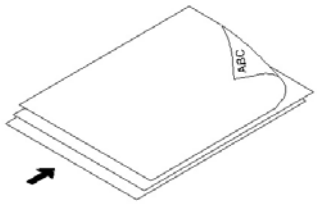
ADFご使用の前に、文書が下記の規格を満たしていることをご確認ください。

- 文書サイズは 3.5x2 インチから 8.5x14 インチ(リーガル)の範囲です。
- 文書の質量は 16~28 ポンドです。
- 文書は正方形または長方形で、状況が良好であるもの(破れやすかったりや擦り切れたりしていない)とします。
- 文書はめくれ、皺、破れ、乾いていないインクまたはパンチ穴などがないものとします。
- 文書にはホチキス針、ゼムクリップ、付箋紙などが付いていないものとします。

3.1.2　ADFペーパートレイへの文書のセット

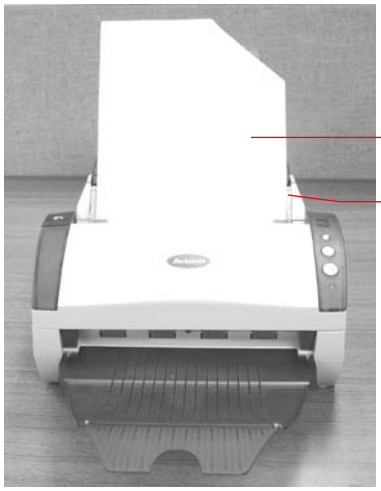
文書をさばく

標準規格の紙がスキャナーに通しやすいです。複数の文書を自動給紙する場合は、紙詰まり防止のため、セットする前にさばいて紙離れを良くしてください。



文書の紙送り

文書は逆様にしてADFペーパートレイにセットします。　文書の両側をペーパーガイドに合わせます。　ADFペーパートレイに一度にセット可能な枚数は最大 50枚であることにご注意ください。



3.1.3 ドキュメントをフロントレイに設置

原稿面を下にして、下図のようにフロントトレイにドキュメントをセットしてください。

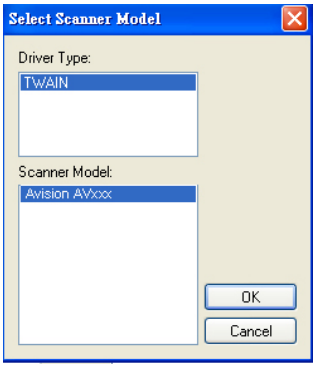
3.2 スキャナのインストールの確認

スキャナが正しくインストールされたかどうかを確認するため、AvisionではAvision Capture Tool という便利なツールをご用意しています。このツールを使い、簡単なスキャンを実行し、取り込まれた画像を確認できます。また、指定速度でスキャンを実行することができます。

以下の手順でスキャナのインストールを確認してください。インストールが正しく行われていない場合は、前章をご覧になり、ケーブル接続やスキャナドライバのインストールについてご確認ください。

スキャナの電源を入れてください。

1. [スタート] – [プログラム] – [Avision AVxxx Scanner] – [Avision Capture Tool] を選択します。
   [スキャナモデルの選択] のダイアログボックスが表示されます。



2. ドライバタイプとスキャナモデルを選択し、[OK] をクリックします。以下の Avision Capture Tool のダイアログボックスが表示されます。

3. ファイル形式のドロップダウンリストから、ファイル形式を選択します (既定値は BMP ですが、TIFF、GIF、JPEG などからも選択できます)。

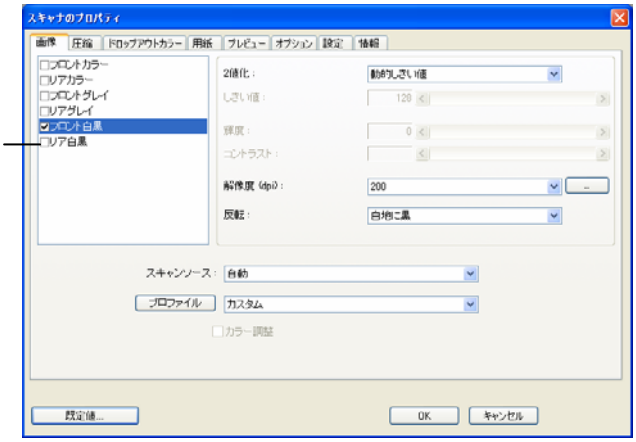
4. ファイルパスの欄に任意のフォルダ名とファイル名を入力してください (既定値は C:\My Scan\Image です)。

メモ: スキャンした画像を保存しない場合は、[保存] ボタンの選択を解除してください (既定では有効になっています)。保存を解除すると、サムネイル表示ができなくなります。このため、スキャンしたすべての画像を表示した後、最後の画像が画面に表示されたままとなります。

5. セットアップボタン (

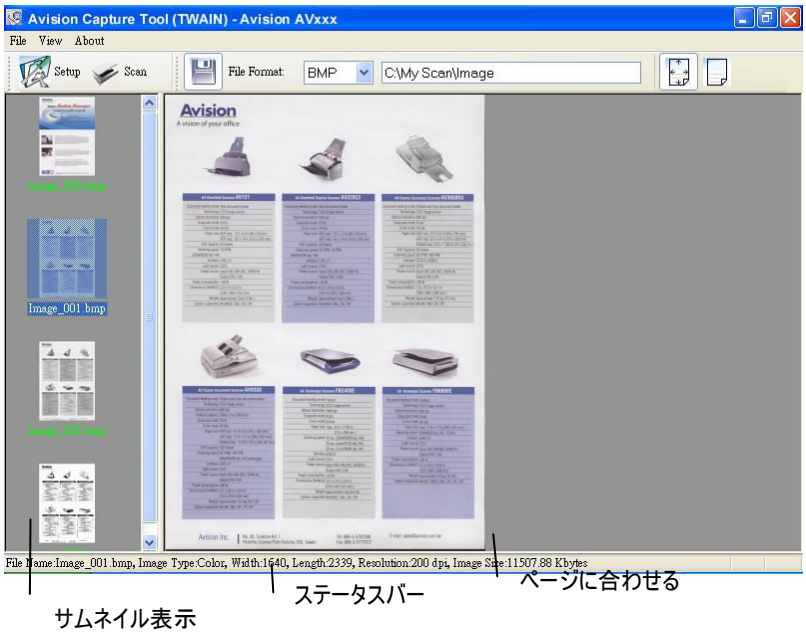
) をクリックするか、または [ファイル] メニューから [セットアップ] を選択し、[スキャナのプロパティ] ダイアログボックスを表示してください。

画像選択欄



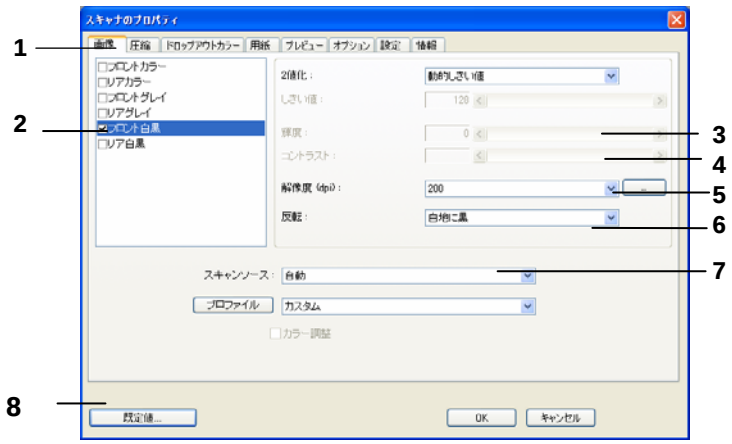
6. 画像選択欄でスキャンした画像の種類を選択してください。(既定値はフロント B&W です)。両面スキャナをお持ちの場合、フロントとリアの両方を選択し、ドキュメントの両面をスキャンすることもできます。
7. [OK] ボタンをクリックして、[スキャナのプロパティ] ダイアログボックスを終了します。([スキャナのプロパティ] ダイアログボックスに関する詳細は、「スキャナのプロパティ ダイアログボックスを使用する」の章をご覧ください。)
8. ADF に文書の表を上にして、またはガラス面に向けて置いてください。
9. [スキャン確認] のダイアログボックスで、[スキャン] ボタン (

) をクリックするか、または [ファイル] メニューから [スキャン] を選択してください。
10. 文書がスキャンされ、[スキャン確認] 画面に表示されます。スキャンされた画像が表示されると、スキャナのインストールの確認は完了です。



11. スキャンされた、右側の表示ツールバーを押し、ページに合わせて ( ) 、または実物大(100%) ( ) で表示することができます。
12. [ファイル] メニューから [閉じる] または [終了] をクリックし、Avision Capture Tool を終了します。

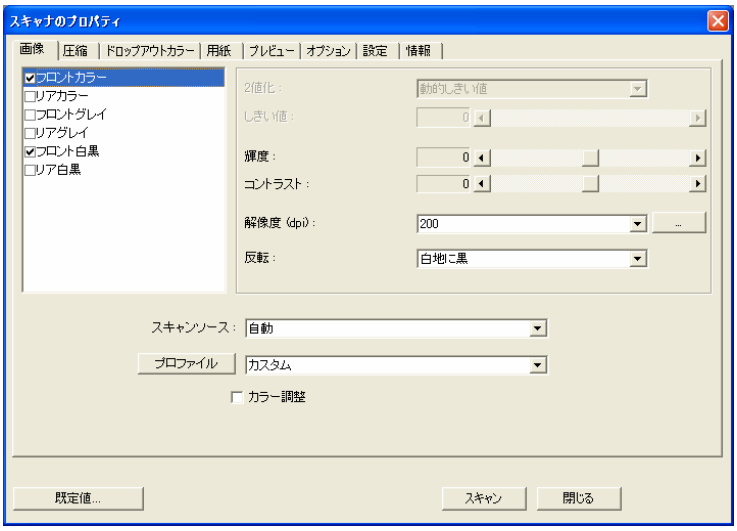
3.3　ユーザインタフェースの一覧



1. タブオプション	オプション：画像、圧縮、カラー・**ドロップアウト**、ペーパー、オプション、設定、情報。
2. 画像タイプ	画像タイプとスキャンしたい面を選択します。
3. 輝度:	輝度レベルを-100～+100 調節します。
4. コントラスト	コントラストレベルを-100～+100 調節します。
5. 解像度	スキャンされた画像の品質を決めます。工業規格は 200dpi です。
6. 反転	スキャンされた画像の色を反転します。
7. スキャンソース	**オプション：自動原稿送り装置**(Auto Document Feeder)、**フラットベッド**、自動(スキャンナーモデルにより異なります。)
8. デフォルト値	タブ上の全ての値を**工場出荷**時のデフォルト値にリセットする。

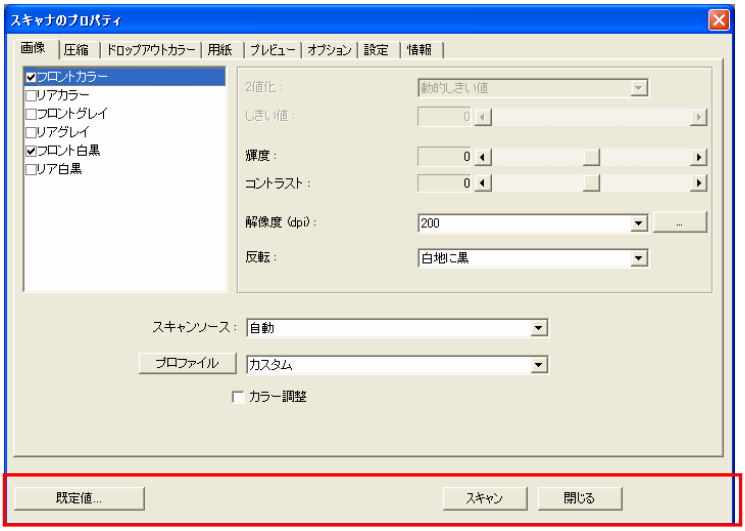
4. [スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスの使い方

[スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスでは、スキャナの様々な設定を行うことができます。この章では、このダイアログ ボックスに含まれる各タブ付ウィンドウについて説明しています。



[スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックス

4.1 [スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスのボタン



[スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスのボタン

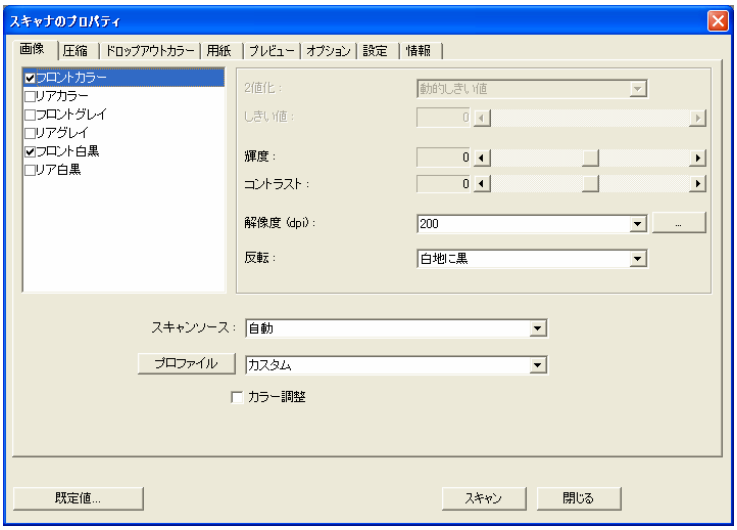
ボタン	説明
既定値	**[既定値]** ボタンをクリックすると、各タブで工場出荷時の既定値が表示されます。
スキャン	スキャン設定が完了したら、**[スキャン]** ボタンをクリックし、ドキュメントのスキャンを開始します。
閉じる	[スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスを終了するときは、**[閉じる]** ボタンをクリックします。

下表は既定値を示します:

タブの名前	既定値
画像	画像:前面白黒 2 値化:動的しきい値 解像度:200 dpi 反転:白地に黒 スキャン ソース:自動ドキュメントフィーダー しきい値:なし 輝度:なし コントラスト:なし
圧縮	なし
ドロップアウト カラー	なし
用紙	切り抜き:自動 傾き補正:あり 方向:垂直 オーバースキャン:0.00 マルチフィード検出:なし 単位:インチ
オプション	回転角度:なし 白紙ページの削除:なし エッジフィル:白、0 mm 画像コントロール オプション:なし
設定	省電力有効:有効、最後のスキャンから 15分後 スキャン過程を表示:はい 警告メッセージを表示:はい 閉じた後設定を保存:はい

4.2 画像タブ

[画像] タブでは、ドキュメントの前面または背面、画像タイプなどを選択し、様々なスキャンの基本設定を行うことができます。解像度を除き、前面と背面のスキャン設定は別々に行うことができます。たとえば、[画像] タブ、[圧縮] タブ、[ドロップアウトカラー] タブのすべての設定は、前面と背面で別々な設定が可能です。ただし、[用紙] タブ、[オプション] タブ、および [設定] タブは、前面と背面が一致している必要があります。



[画像] タブのダイアログ ボックス

4.2.1 画像選択ボックス

[画像選択] ボックスには、画像タイプとドキュメント前面/背面オプションが含まれます。カラー ドキュメントの前面と背面の両方をスキャンする場合は、[前面カラー] と [背面カラー] の両方をチェックしておきます。オプションはスキャナ タイプにより異なります。

例 1: 両面カラー ドキュメントの前面と背面をカラー スキャン

前面 / 背面および画像選択

前面

背面

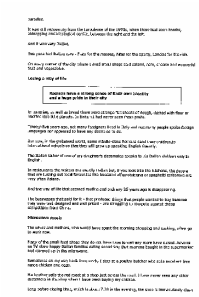
例 2: 両面カラー ドキュメントを、片面を白黒 (ドロップカラー 青、しきい値 10、背景 79) でスキャンし、もう片面をカラーでスキャン

前面 / 背面および画像選択

前面

背面

画像タイプ	説明
カラー	カラー画像を本来の色でスキャンする場合は、[カラー] を選択します。
グレイ	原稿に灰色の影が含まれている場合、[グレイ] を選択します。
白黒	原稿に文字、鉛筆やペンによるスケッチのみが含まれる場合、[白黒] を選択します。



白黒

グレイ

カラー

4.2.2 その他の画像オプション

2 値化

これはグレイスケールまたはカラー画像を複調画像に変換するプロセスです。この変換には、いくつかの方法があります。オプションには、**[動的しきい値]** と **[固定処理]** があります。

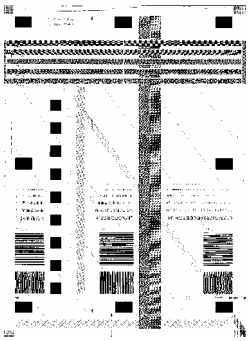
動的しきい値:[動的しきい値] を選択すると、スキャナは各ドキュメントを動的に評価し、高画質画像を生成するための最適なしきい値を決定します。これは、薄い文字、影のある背景、カラー背景などが混在するドキュメントを 1 つの設定でスキャンする際に使用します。[動的しきい値] を選択すると、[しきい値]、[輝度]、[コントラスト] の設定はできなくなります。

固定処理:白黒やその他のコントラストの高いドキュメントに使用します。白黒の採らん時ションを決定する 1 つのレベルが設定されます。しきい値は、濃度範囲全体でプログラム可能です。**[固定処理]** は、[コントラスト] を 0 に設定します。**[固定処理]** を選択した場合、[コントラスト] は変更できません。

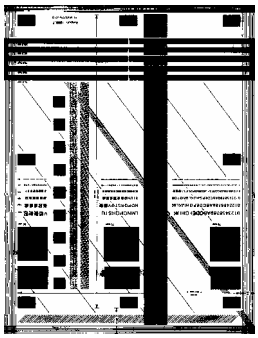
しきい値

グレイスケール画像を複調画像に変換するために使われます。0～255 の値で設定します。しきい値が低いと画像は明るくなり、背景や分かりにくく不要な情報を抑えることができます。しきい値が高いと、画像は暗くなり、薄い画像をより鮮明にすることができます。

[しきい値] のスライドバーを左右にドラッグしてしきい値を調整し、希望のしきい値に設定します。



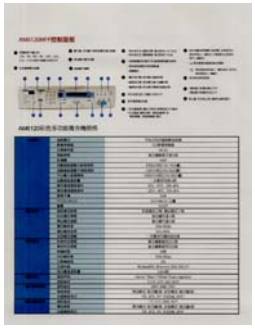
200 dpi、
しきい値80、輝度 0



200 dpi、
しきい値 170、
輝度 0

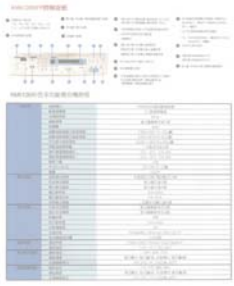
輝度　画像の明るさや暗さを調整します。値が高いほど画像は明るくなります。スライダーを左右にドラッグし、輝度を増加または減少してください。範囲は –100～+100 です。

コントラスト　画像の暗い影と明るい影との間の範囲を調整します。コントラストが高いほど、グレイスケールの差は大きくなります。スライダーを左右にドラッグし、コントラストを増加または減少してください。範囲は –100～+100 です。

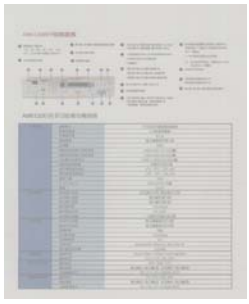


輝度 -50

輝度0 (正常)



輝度 +50



コントラスト -50

コントラスト0 (正常)

コントラスト +50

解像度

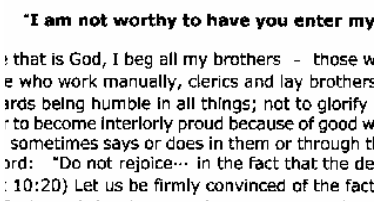
解像度をしっかりとコントロールすれば、スキャン画像の詳細が鮮明になります。解像度は 1 インチ当たりのドット数 (dpi) という単位で示されます。通常、dpi の数値が高いほど解像度が高くなり、画像ファイル サイズも大きくなります。解像度が高いほど、スキャンには時間がかかり、スキャン画像が多くのディスク容量を必要とします。たとえば、A4 サイズのカラー画像を 300 dpi の True Color モードでスキャンすると、約 25 MB のディスク容量を必要とします。高解像度 (通常は 600 dpi 以上を指します) は、小さな範囲を True Color モードでスキャンする場合にのみ推奨します。

ドロップダウン リストから解像度を選択してください。既定値は 200 dpi です。利用可能な解像度は 75、100、150、200、300、400、600 となっています。また、ドロップダウン リストの右側にあるボックスをクリックして任意の値を選択し、矢印キーを押して希望の値を選択し、[追加] ボタンをクリックすると、この値をドロップダウン リストに加えることができます。

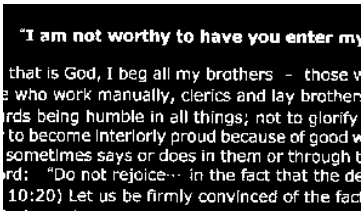
解像度75 dpi

解像度150 dpi

反転　　画像の輝度と色を反転させる機能です。既定値は [白地に黒] です。反転モードは、[黒字に白] となります。カラー画像については、[反転] コマンドにより各ピクセルが補色に変換されます。



白地に黒



黒地に白

スキャン ソース

オプション:

- **自動ドキュメント フィーダー:**複数ページをスキャンする場合に使用します。
- **フラットベッド:**1 枚の用紙のみをスキャンするときに使用します。例えば、新聞の切り抜き、しわやよじれのない用紙などです。
- **フラットベッド (本):** 本の中の数ページをスキャンする場合に使用します。
- **自動:** スキャナが自動的にスキャン ソースを設定します。**[自動]** が選択されており、自動ドキュメントフィーダー (ADF) とフラットベッドの両方にドキュメントがある場合、スキャン ソースは自動的に ADF に設定されます。**[自動]** が選択されており、フラットベッドにのみドキュメントがある場合、スキャン ソースはフラットベッドに設定されます。

オプションはスキャナ タイプにより異なります。

カラー調節　イメージのカラー品質を調節してオリジナルに近づけられます。この機能ではイメージ調節にデフォルトパラメータを使用します。

(通常)

(カラー調節後)

4.2.3 カラー画像のスキャン

カラー画像をスキャンする場合は、次のオプションを利用可能です。

- 輝度
- コントラスト
- 解像度
- 反転

4.2.4 グレイスケール画像のスキャン

グレイスケール画像をスキャンする場合は、次のオプションを利用可能です。

- 輝度
- コントラスト
- 解像度
- 反転

4.2.5 白黒画像のスキャン

白黒画像をスキャンする場合は、次のオプションを利用可能です。

- 2 値化 (動的しきい値)
- 解像度
- 反転

または

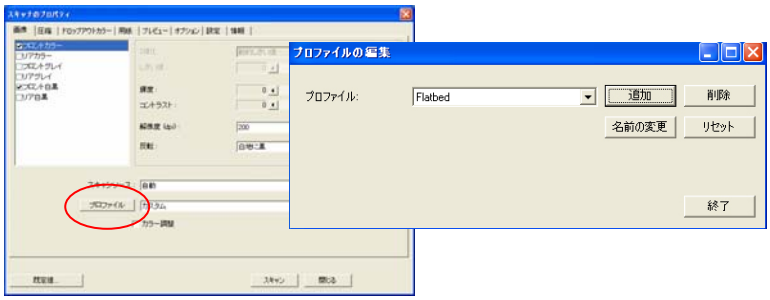
- 2 値化 (固定処理)
- しきい値
- 輝度
- 解像度
- 反転

4.2.6 プロファイルの編集

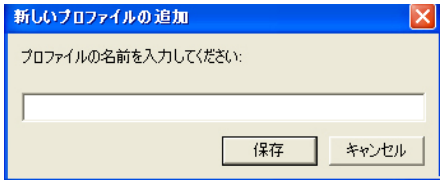
[スキャナのプロパティ] ダイアログボックスでは、よく使用するスキャン設定を変更し、プロファイルに保存することができます。プロパティは、名前を変更したり、削除するなどして編集できます。

新規プロファイルを追加するには、以下の要領で行います。

1. 設定をカスタマイズします。(たとえば、解像度、ファイル形式、クロップ方法、スキャンサイズ、その他のスキャン設定などを変更します。)
2. [イメージ] タブをクリックし、[プロファイル] を選択します。[プロファイルの編集] ダイアログボックスが表示されます。



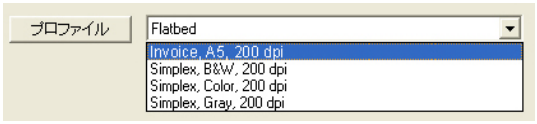
3. [追加] をクリックしてプロファイルの名前を入力し、[保存] を選択します。



4. 新しいプロファイルが保存され、[プロファイル] のドロップダウンリストに表示されます。

プロファイルの読み込み方法:

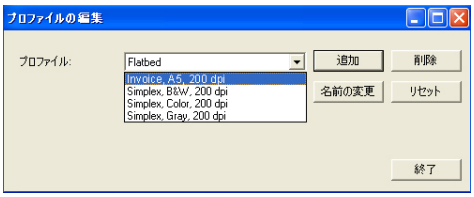
1. [イメージ] タブで、[プロファイル] のドロップダウンリストから、お気に入りのプロファイルを選択します。



2. お気に入りのプロファイルがすぐに読み込まれ、[スキャナのプロパティ] のダイアログボックスに表示されます。

プロファイルの削除は、次の要領で行います。

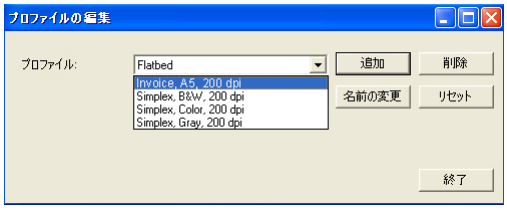
1. [イメージ] タブから [プロファイル] を選択し、[プロファイルの編集] ダイアログボックスを表示します。
2. ドロップダウンリストから削除するプロファイルを選択します。



3. [削除] をクリックします。"このアイテムを削除してよろしいですか?" という確認メッセージが表示されます。
4. [はい] をクリックして削除するか、または [キャンセル] をクリックして削除をキャンセルします。

プロファイルの名前を変更するには、次の要領で行います。

1. [イメージ] タブから [プロファイル] を選択し、[プロファイルの編集] ダイアログボックスを表示します。
2. ドロップダウンリストから名前を変更するプロファイルを選択し、[名前の変更] をクリックします。



3. プロファイルの新しい名前を入力します。

4. [はい] をクリックして削除するか、または [キャンセル] をクリックして削除をキャンセルします。

メモ:
あらかじめ定義されたプリセットプロファイルには、フラットベッド、Simplex-白黒、200 dpi、Simplex-グレイ、200 dpi、Simplex-カラー、200 dpi、Duplex-白黒、200 dpi、Duplex-グレイ、200 dpi、Duplex-カラー、200 dpi があります。Simplex またはシートフィードスキャナがある場合は、Duplexとフラットベッドはご利用になれません。

4.3 圧縮タブ

[圧縮] タブでは、圧縮レベルを選択し、スキャンした画像を圧縮することができます。複調画像は通常、”Group 4” (G4) と呼ばれる CCITT 標準で圧縮されます。カラーおよびグレイスケール画像は JPEG 技術で圧縮されます。**[JPEG 画質]** のスライドバーを左右に動かし、圧縮レベルを増加または減少します。圧縮レベルが大きいほど、画質は劣化します。既定値は 50% です。

圧縮は画像編集アプリケーションにより異なります。お使いの画像編集アプリケーションが対応していない圧縮形式については、警告メッセージが表示されるか、または圧縮ファイルの画質が利用できないものになります。

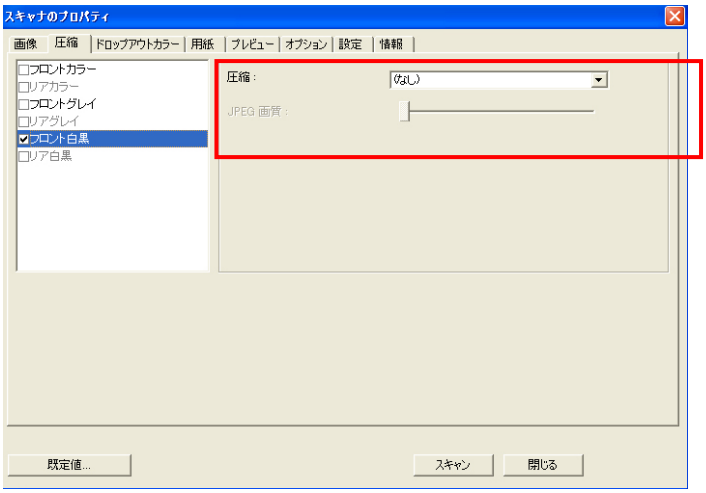
JPEG (Joint Photographic Editor Group)このグループは、スキャナやソフトウェア アプリケーションにより幅広く利用されているカラーおよびグレイスケール画像のためのファイル圧縮標準を開発しました。Microsoft Windows ベース システムでは、この方法で圧縮されたファイルに .jpg という拡張子が与えられます。

カラーまたはグレイスケール画像をスキャンする場合、次の圧縮を利用することができます。

- なし
- JPEG

白黒画像をスキャンする場合、次の圧縮を利用することができます。

- なし
- G4



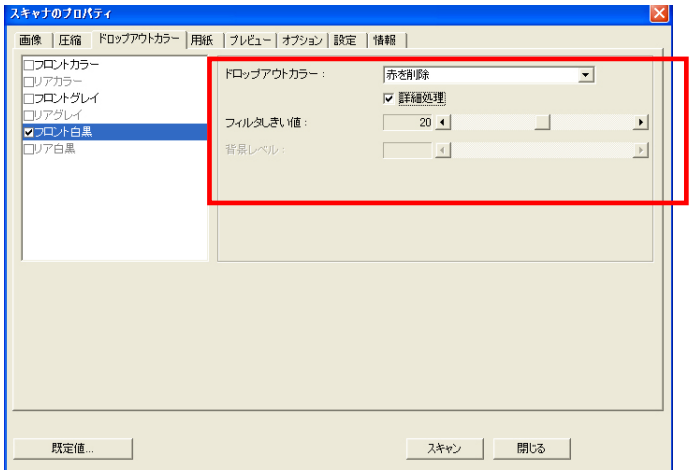
[圧縮] タブのダイアログ ボックス

4.4 ドロップアウト カラー タブ

4.4.1 ドロップアウト カラーの選択

[ドロップアウト カラー] タブでは、スキャンされた画像から赤、青、または緑をドロップします。画像に赤い透かしや背景が入っている場合、[R] (赤) チャンネルを選択すると、赤い透かしや背景が削除されます。この機能は、OCR (光学式文字読取認識) ソフトウェアを使って文字を鮮明化するときなどに使用できます。

この機能は、白黒画像とグレイスケール画像にのみ対応しています。このため、この機能を適用する際は、必ず白黒またはグレイスケールの画像タイプを選択してください。



[ドロップアウト カラー] のダイアログ ボックス

4.4.2 その他のドロップアウト カラー オプション

[詳細処理] は、スキャンされた画像を最適な状態に調整するための 2 つのオプションを提供します。

フィルタしきい値 この値は、どの色をドロップするかを決定するために使用します。低い値は選択された色をよりドロップし、高い値は選択された色をより残します。

背景レベル 背景値よりも高いピクセルは、最も明るい点に合わせて調整されます。[フィルタしきい値] と [背景レベル] の両方の値を調整することで、最適な画質を得ることができます。

たとえば、背景レベルを多少調整すると、文字がより鮮明になります。

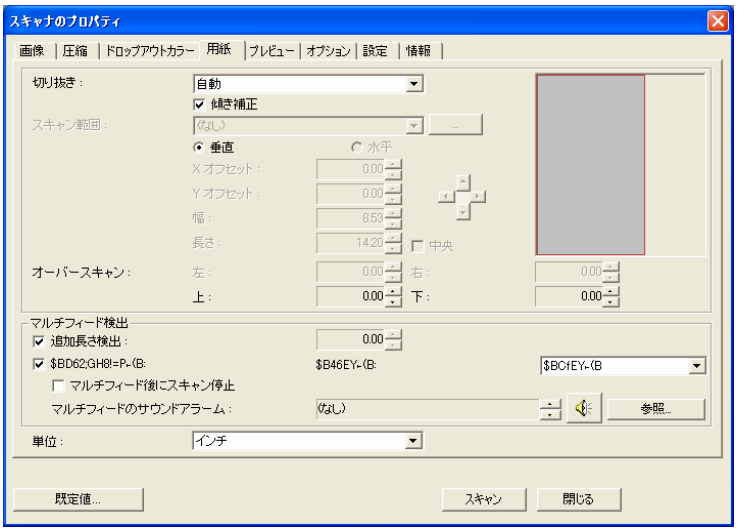
原稿

青を削除、しきい値20、背景 255

青を削除、しきい値 20，背景レベル 210

4.5 用紙タブ

[用紙] タブでは、画像出力に関する値を定義します (自動的に切り抜くかどうか、スキャン範囲、オーバースキャン、マルチフィード検出など)。



[用紙] タブのダイアログ ボックス

4.5.1 切り抜き

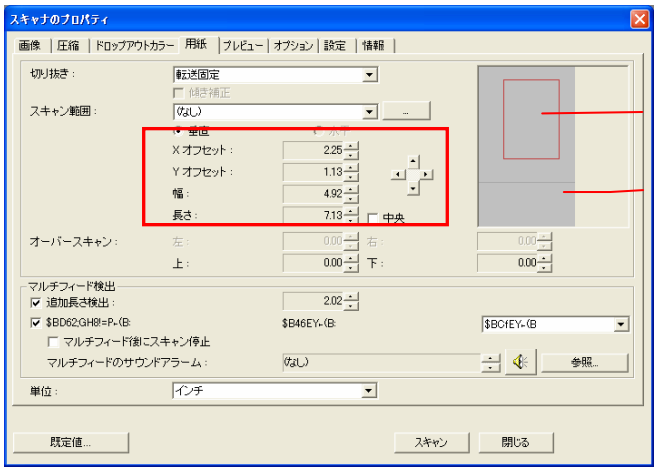
[切り抜き] は、スキャンされたドキュメントの一部分をキャプチャします。**オプション:自動、転送固定、EOP (ページ終了) 検出。**

オプション	説明
自動:	ドキュメントのサイズに合わせて、自動的に切り抜きウィンドウを調整します。このオプションは、サイズの異なるドキュメントを一括して扱う場合に使用します。
転送固定	この機能は、画像のある一定範囲またはゾーンを定義します。同じサイズのドキュメントを処理する際に使用します。このオプションを選択すると、矢印キーを使って X と Y のオフセット値、幅と長さを定義し、スキャン範囲を再指定することができます。[表示] ウィンドウは値を変更する際に、画像配置を表示します。
EOP (ページ終了) 検出	この機能は、画像のある一定範囲またはゾーンを定義します。同じ幅、異なる長さのドキュメントに使用します。このオプションを選択すると、矢印キーを使って X と Y のオフセット値、幅と長さを定義し、スキャン範囲を再指定することができます。[表示] ウィンドウは値を変更する際に、画像配置を表示します。

以下のオプションは、**[転送固定]** が選択されている場合のみ有効です。

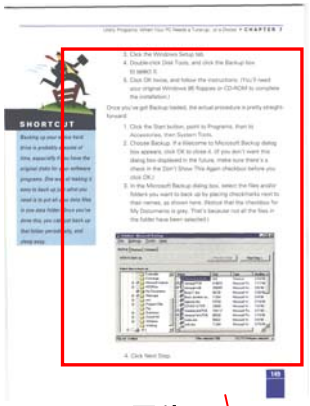
- **X オフセット** — スキャナの左端からスキャン範囲の左端までの距離です。
- **Y オフセット** — スキャナの右端からスキャン範囲の右端までの距離です。
- **幅** — スキャン範囲の幅です。
- **長さ** — スキャン範囲の長さです。
- **中央:**中央に置かれたフィーでぃんぐ ベースの X オフセットを、選択されたドキュメント サイズに合わせて自動的に計算します。
- — スキャン範囲は、スキャン範囲を維持しながら、矢印キーを使用して動かすことができます。結果は [表示] ウィンドウで確認できます。

例: スキャン範囲の再定義 (X オフセット:2.25 インチ、Y オフセット:1.13 インチ)



スキャン範囲

表示ウィンドウ



原稿

転送固定後

再定義されたスキャン範囲

4.5.2 その他用紙選択

傾き補正

このオプションを使用すると、ドキュメントの傾きを自動的に補正します。

メモ: 傾きの角度が大きすぎる場合、一部の画像は切り取られることがあります。

スキャン範囲

ドロップダウン リストから希望の用紙サイズを選択します。または、**[スキャン範囲]** ボックスをクリックし、**[追加]** をクリックして、これをオプション内に追加します。

オプション:なし、レター- 8.5"x 11"、リーガル – 8.5" x 14"、ISO A4 – 21 x 29.7 cm、ISO A5 – 14.8 x 21 cm、ISO A6 – 10.5 x 14.8cm、ISO A7 – 7.4 x 10/5 cm、ISO B5 – 17.6 x 25 cm、ISO B6 – 12.5 x 17.6 cm、ISO B7 – 8.8 x 12.5 cm、JIS B5 – 18.2 x 25.7 cm、JIS B6 – 12.8 x 18.2 cm、JIS B7 – 9.1 x 12.8 cm、スキャナ最大, 長いページ

長いページ:
スキャナの制限を超えた長いドキュメントをスキャンする際は、[長いページ] を選択します.[長いページ] を選択すると、[マルチフィード検出] 機能はご利用になれません。オプション: 未知の長さ、長さ入力 (*スキャナのタイプにより、オプションは異なります。)

長さの分からない、長いページのドキュメントがたくさんある場合は、[未知の長さ] を選択します。 [長さ入力] を選択すると、ドキュメントの長さと幅を入力したり、または希望のドキュメントサイズを入力することができます。同じスキャンサイズのドキュメントがたくさんある場合などに便利です。

オーバースキャン

[オーバースキャン] は、画像の端に、上下または左右に余白を追加します (スキャナ タイプによりオプションは異なります)。この機能は傾いた画像の端が切り取られることを防ぐことができ、ADF 傾いたドキュメントを一括スキャンする際に適用できます。0～+5 mm の値を選択します。オーバースキャンの結果は [表示] ウィンドウには表示されず、機能の利用方法はスキャナのタイプにより異なります。

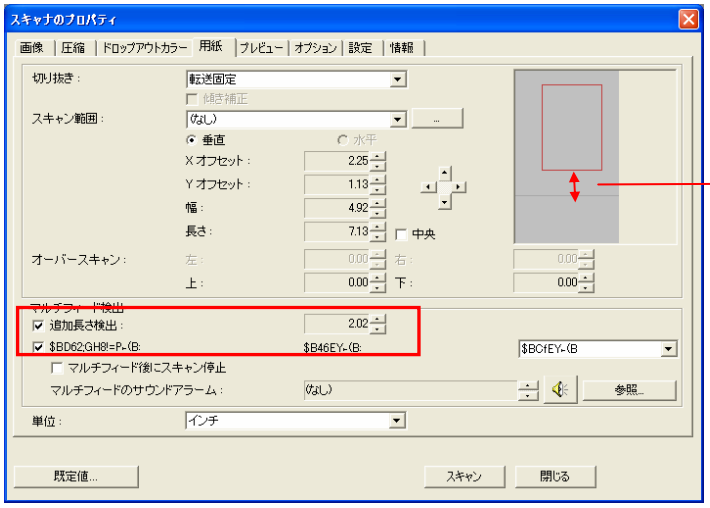
マルチフィード検出

[マルチフィード検出] 機能は、ADF を通る重複したドキュメントを検出します。マルチフィードは通常、ホッチキスでとめられたドキュメント、装丁されたドキュメント、帯電したドキュメントなどで発生します。メモ: 機能の可用性はスキャナのタイプにより異なります。

追加長さ検出

[追加長さ検出] は、マルチフィードされたドキュメントの長さを定義することができます。この値は、スキャン範囲を超える追加の長さを示します。[表示] ウィンドウには、値を変更するたびにドキュメント サイズを表示します。値が 0 の場合、追加長さ検出はありません。[追加長さ検出] は、同じサイズのドキュメントを ADF でスキャンする際に理想的です。

例: 追加長さ検出: 追加長さを 2.02 インチに設定



超音波検出
超音波検出により文書間の用紙厚みを検出するので、重複文書が設置可能です。

- **マルチフィード後のスキャンを停止する**

  このオプションが選択されている場合、複数ページが検出されたときに、スキャナはフィーダーを停止し、以下の警告メッセージを表示します。

対策:

1. 警告メッセージの指示に従い、フィーダーの残りのページを取り除きます。
2. [OK] をクリックし、警告メッセージを閉じます。
3. 残りのページをスキャンします。

- **マルチフィードのサウンドアラーム**

  Wave ファイルを追加すると、マルチフィードが検出されているものの、警告ダイアログボックスが表示されない場合に、アラームが鳴るようにできます。

  [マルチフィード後、スキャンを停止する] が選択されている場合、スキャナはフィーダーを停止します。

  [マルチフィード後、スキャンを停止する] が選択されていない場合、スキャナはドキュメントの最後までスキャンを続行します。

  対策:

1. [マルチフィード後、スキャンを停止する] が選択されている場合、前頁の [マルチフィード後、スキャンを停止する] 部分で説明する操作を行い、作業を完了してください。
2. [マルチフィード後、スキャンを停止する] が選択されていない場合、マルチフィードが検出されたページを再スキャンしてください。

サウンドアラームの追加方法:

1. スピーカー アイコン右側の [参照] ボタンをクリックします。[開く] のダイアログ ボックスが表示されます。
2. ここで wave ファイルを選択します。
3. [開く] ボタンをクリックします。wave ファイルが追加されます。

単位

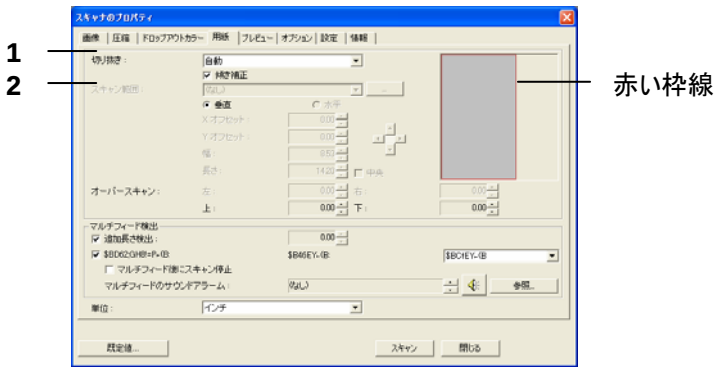
主な測定システムを定義します。**インチ、ミリ、ピクセル**のいずれかを使用します。

4.5.3 ドキュメントに基づく

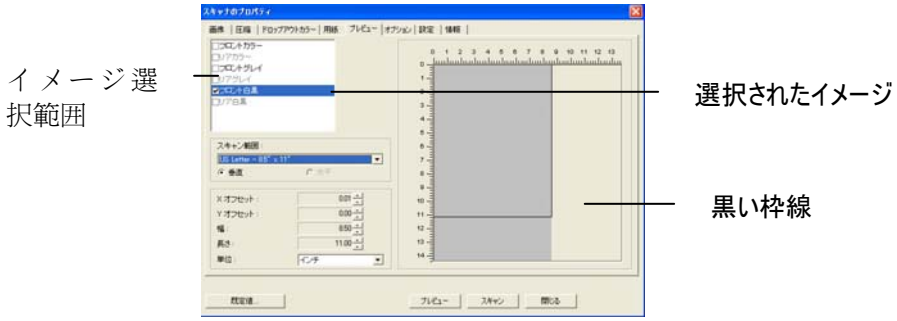
ドキュメントに基づく:(同サイズのドキュメントの一括処理に使用)
このオプションは、ドキュメントの様々な部分を切り取り、白黒、グレイ、カラーなどで別々にイメージを取り込むことができます。たとえば、あるアプリケーションでは、ドキュメント全体を白黒で保存し、次にドキュメントの一部をカラーで保存する必要があるとします。このオプションは、写真が入ったドキュメントや、履歴書などのドキュメントで同じ場所に書かれた署名を処理する場合などに便利です。

以下の手順では、ドキュメント全体を白黒で、ドキュメントの一部をカラーで処理する方法について説明しています。

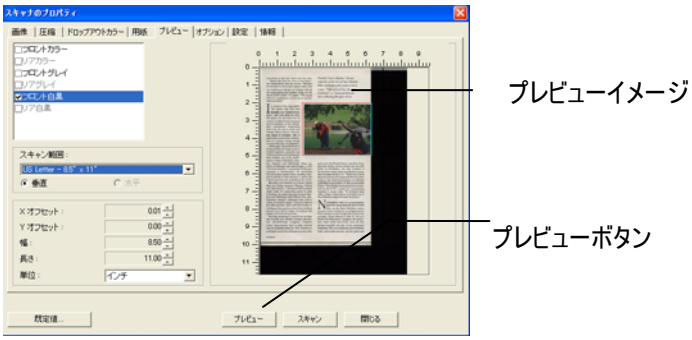
1. [用紙] タブで、[クロップ] オプションから [ドキュメントに基づく] または [固定転送] を選択します。
2. [スキャン範囲] から、スキャンサイズを選択します。選択されたスキャンサイズが赤い四角い枠線で表示されます。これは、ドキュメント全体のスキャンサイズでもあります。(例: ISO B5.別のスキャン範囲を選択せず、選択を [なし] にすると、既定の範囲がスキャナの最大範囲になります。)



3. [プレビュー] タブをクリックし、[プレビュー] ウィンドウを表示します。黒い四角い枠線が表示され、さきほど選択した最大スキャンサイズを示します。



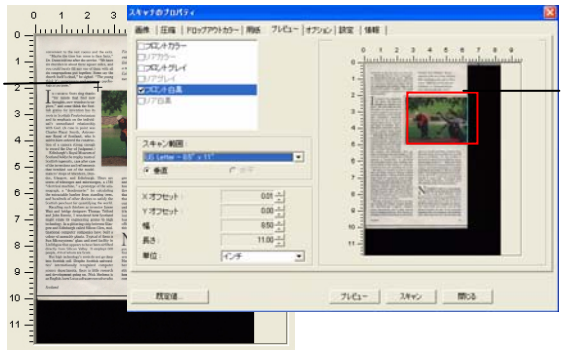
4. [プレビュー] ボタンをクリックすると、低解像度でイメージ全体が表示されますので、スキャン範囲が正しくクロップされているかどうかを確認できます。



5. [イメージ選択] ボックスからイメージタイプを選択します。選択されたイメージがハイライトカラーで表示されます。(例: フロントカラーなど)

6. カーソルを [プレビュー] ウィンドウに置き、マウスの左ボタンをクリックします。図のようなプラス記号が表示されます。マウスの左ボタンをドラッグしながら希望のサイズを決め、スキャンサイズを設定します。選択された範囲は、図のように赤い枠線で表示されます。

プラス記号



選択範囲

7. イメージ選択ボックスから白黒イメージをチェックすると、ドキュメント全体をスキャンできます。
8. [スキャン] ボタンをクリックし、2 種類のイメージタイプとサイズでドキュメントのスキャンを開始します。(以下はスキャン結果です。)

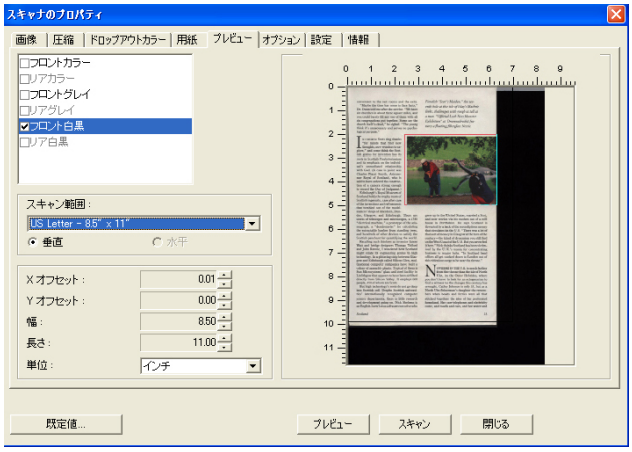
ドキュメント全体を白黒で

選択範囲のみをカラーで

4.6 プレビュータブ

プレビュータブでは、最終的なスキャンを行う前に、低解像度スキャンにより画像をプレビューすることができます。画像をプレビューすることで、スキャン範囲を設定することができます。[スキャン範囲] のドロップダウンボックス、またはディスプレイウィンドウでカーソルをドラッグ&ドロップして、スキャン範囲を設定してください。赤い四角い枠が選択範囲を示します。

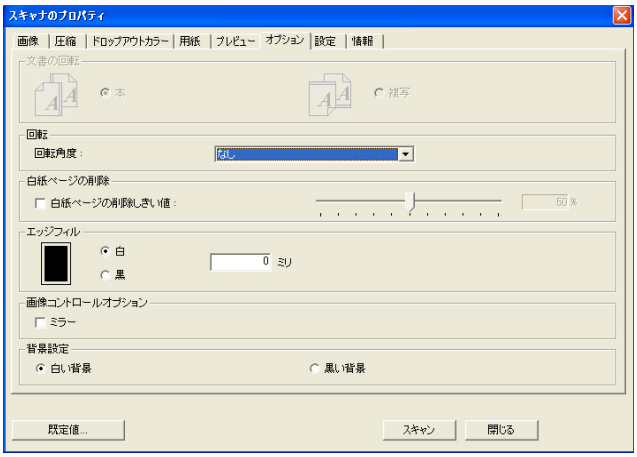
メモ:[用紙] タブで [自動クロップ] を選択した場合、[プレビュータブ] でスキャン範囲を選択することはできません。



プレビュータブ

4.7 オプション タブ

[オプション] タブでは、以下の画像処理設定を行うことができます。



[オプション] タブのダイアログ ボックス

文書の回転

このオプションは、両面印刷の文書を処理しており、[複写] が選択されている場合、反対側の画像を 180° 回転することができます。

これは、縦長 (幅よりも高さが長い) の両面印刷文書に適用されますが、場合によっては横長 (高さが幅よりも長い)、または逆の方向でスキャナにセットすることができます。この場合は、反対側の画像がさらに 180° 回転します。

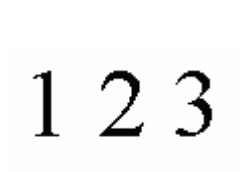
選択し: 本、複写

[本] が選択されると、反対側の画像は回転されません。

下図は、スキャナに横長でセットされた、縦長文書の方向を示しています。

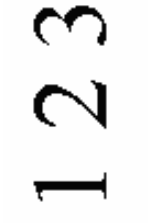
画像回転　スキャンした画像を回転させる場合は、ドロップダウン リストから回転角度を選択します。

オプション:なし、90° 時計回り、90° 逆時計回り、180°



原稿

90° 時計回り

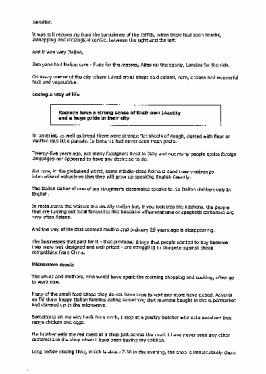


90° 逆時計回り

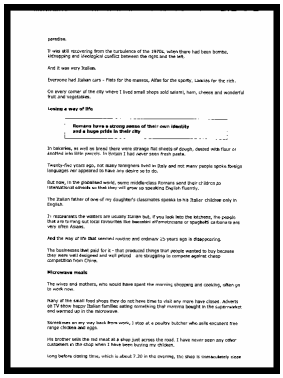
180° 回転

白紙ページの削除　白紙ページを削除したい場合はこのオプションをチェックし、希望のしきい値までスライダーを左右に動かします。

エッジフィル　スキャン画像の周りに白または黒いエッジ (枠) を付ける場合には、[白] または [黒] を選択します。0～5 mm の間で値を入力します。既定値は 0 です。



原稿



エッジフィル: 5mm (黒)

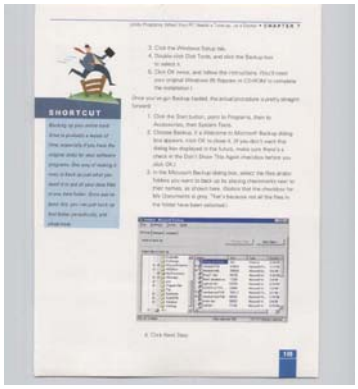
画像コントロールオプション　[ミラー] ボックスをチェックすると、画像の左右が逆転します。

原稿

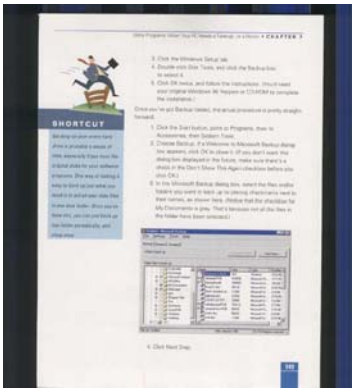
ミラー効果

背景設定　　このオプションは、スキャンの背景を設定することができます。
オプション: 白い背景、黒い背景

*このオプションはスキャナのタイプによって異なり、ADF (auto document feeder) の表紙ページでのみ利用可能です。裏表紙ページについては、白い背景のみ可能です。



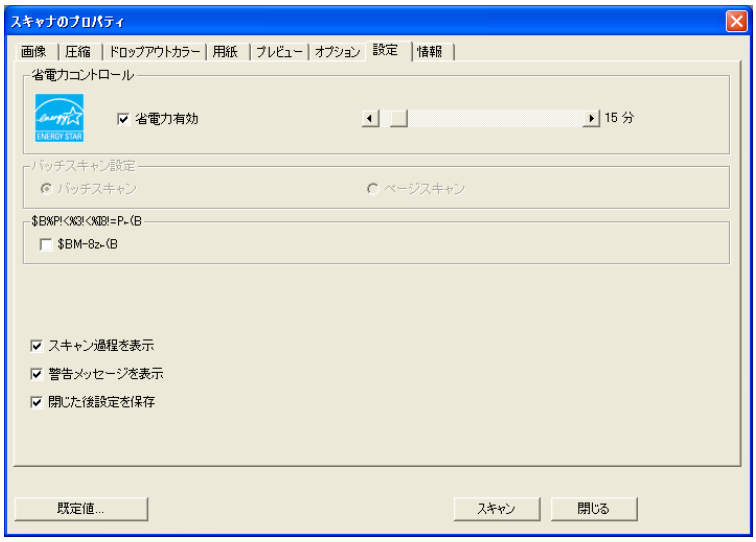
白い背景



黒い背景

4.8 設定タブ

[設定] タブでは、以下の設定が可能です。



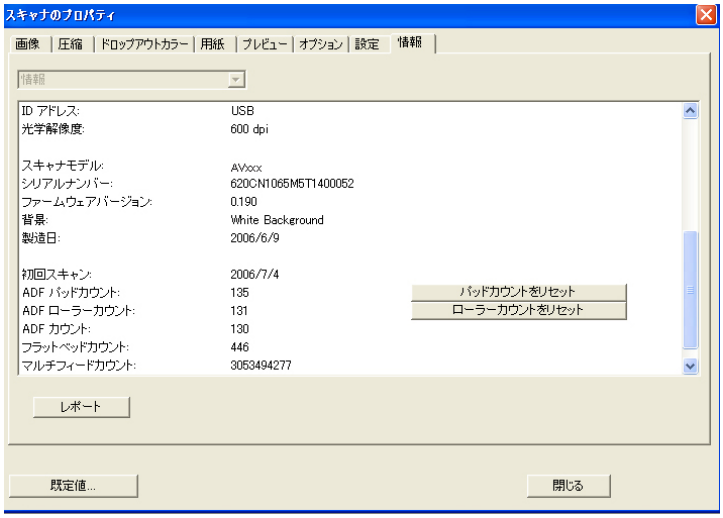
[設定] タブのダイアログ ボックス

省電力 Control	**[省電力有効]** ボックスをチェックし、スライダーを右に移動させて、スキャン操作の後に省電力を有効化する時間を設定します。範囲は 1～240 分です。既定値は 15 分です。
スキャン過程を表示	このオプションをチェックすると、スキャン中にスキャン過程を示すバーが表示されます。

バーコード検出	このオプションにチェックを入れ、お客様の書類の検出とバーコード識別を行います。検出プロセスの後では、avbarcode.ini file が生成され、システムドライブに保存されます(例：Windows\avbarcode.ini)。
警告メッセージの表示	このオプションをチェックすると、「ADF パッドカウントが 50,000 スキャンを超過しました (この数はスキャナタイプにより異なります)。ADF パッドを交換し、パッドカウントをリセットしてください。」などのメッセージを表示します。
閉じた後設定を保存	このオプションをチェックすると、ダイアログ ボックスを終了した後もスキャナのプロパティ設定を保存します。次回 [スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスを開いたときに、前回に保存された設定が表示されます。

4.9 情報タブ

[情報] タブには、システムとスキャナに関する情報が表示されます。



[情報] タブのダイアログ ボックス

[レポート] ボタン:

スキャナを使用中にエラー メッセージが表示された場合は、[レポート] ボタンをクリックします。report.txt ファイルが C:\Avxxx に作成されます。このファイルをお近くのサービス センターにお持ちになり、トラブルシューティングにお役立てください。

[パッド カウントをリセット] ボタン」:

ADF を通して約 50,000 ページをスキャンすると (この数値はスキャナのタイプにより異なります)、ADF パッドが消耗し、紙送りに支障が出る場合があります。:この場合は、ADF パッドを新しいものと交換することをお勧めします。(交換手順については、マニュアルをご覧ください。)ADF パッドのご注文は、お近くの販売店にお問い合わせください。ADF パッドを交換した後は、**[パッド カウントをリセット]** ボタンをクリックし、パッド カウントをリセットします。

[ローラー カウントをリセット] ボタン」:

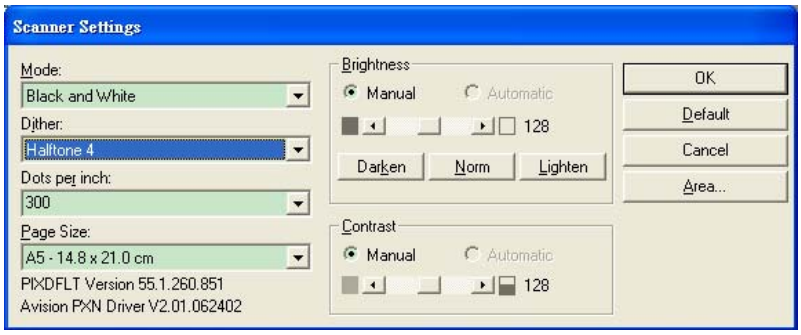
A ADF を通して約 200,000 ページをスキャンすると (この数値はスキャナのタイプにより異なります)、ADF ローラーが消耗し、紙送りに支障が出る場合があります。:この場合は、ADF ローラーを新しいものと交換することをお勧めします。(ADF ローラーの交換は資格のあるサービス センターで行います。このため、ローラー交換の際はスキャナを返品してください。)ADF ローラーを交換した後は、**[パッド ローラーをリセット]** ボタンをクリックし、ローラー カウントをリセットします。

メモ:

各部位の寿命や交換手順はスキャナ タイプにより異なります。詳細はお近くの販売店へお問い合わせください。

5. ISISインタフェース操作

ISISドライバの操作はTWAINドライバと同様です。
ISISインタフェース画面の各機能が下記に簡単に説明されています。



モード:モノクロ、グレー、カラーのスキャンモードから一つを指定します。

ディザー:5個のハーフトーンレベルが使用可能ですが、無効にもできます。

インチ当たりドット数:必要な解像度を指定します。

紙サイズ:必要な紙サイズを指定します。

輝度:スキャンイメージの明暗を調節します。

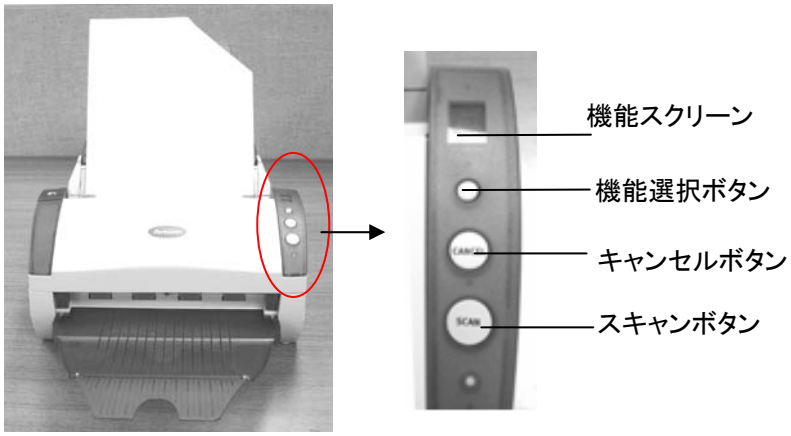
コントラスト:イメージの最も明るい部分と暗い部分の間の範囲を調節します。

デフォルト:クリックすると全部の設定を元に戻します。

範囲:スキャンしたい範囲や箇所を指定します。

6. ボタンを使う

下図にはスキャナーの3個のボタンおよび1つの機能スクリーンが示されています。



6.1 ボタンマネージャのインストール

スキャナのボタンを使用するには、ボタンマネージャをインストールする必要があります。ボタンマネージャが正しく作動するためには、スキャナのドライバをインストールする前に、まずボタンマネージャをインストールしてください。

ボタンマネージャのインストールは極めて簡単です。付属の CD を CD-ROM ドライブにセットし、画面の指示に従ってインストールを完了します。

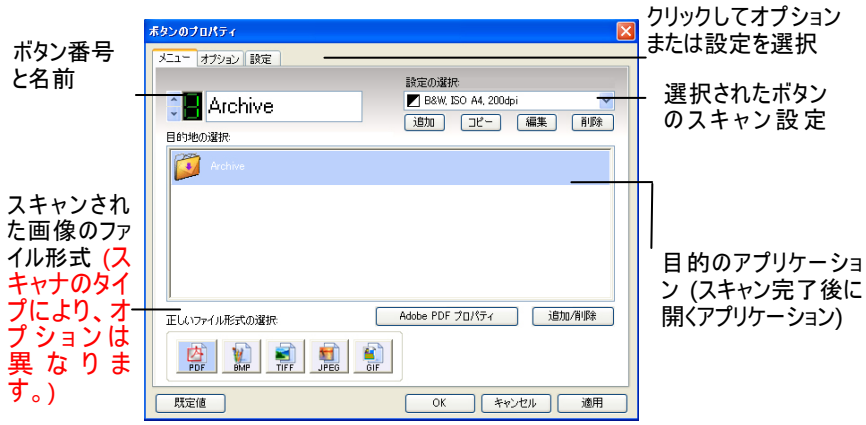
ボタンマネージャは、ドキュメントのスキャンをより簡易化し、スキャンされた画像を目的のソフトウェアアプリケーションにリンクします。これらの操作は、すべてスキャナのボタンをタッチするだけで実行可能です。ただし、スキャンを実行する前に、まずボタン設定を確認し、正しいファイル形式と目的のアプリケーションが選択されているかどうかを確かめます。

6.2 スキャン前のボタン設定の確認

1. ボタンマネージャとスキャナドライバをコンピュータにインストールした後、ボタンパネルがパソコン画面右下の Windows システムトレイに表示されます。

ボタンパネル

2. ボタンパネルには、最初の 5 つのスキャンボタンが表示されます。希望のボタン (機能) を右クリックします。[ボタンのプロパティ] ウィンドウが表示されます。



既定値はハイライトカラーで表示されます。設定を変更する場合は、このウィンドウでファイル形式、目的のアプリケーション、その他のスキャン設定をリセットします。設定のリセット方法については、この次のセクション「ボタンの設定」を参照してください。

3. [OK] ボタンをクリックして終了します。

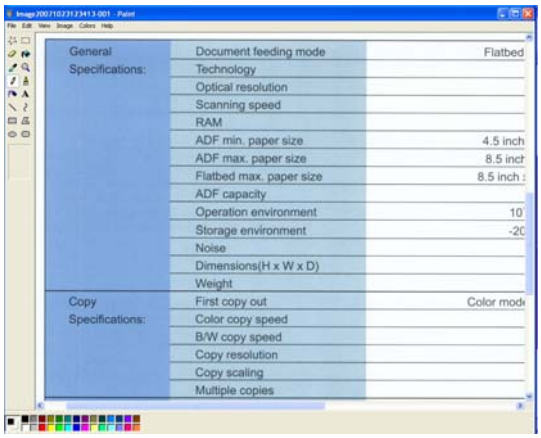
6.3 ボタンワンタッチからのスキャン実行

1. 用紙ガイドを用紙の幅に合わせ、用紙の上の部分から、自動ドキュメントフィーダーにセットしてください。

2. LED 画面の番号を見て、正しいスキャン設定と目的のアプリケーションが選択されているかどうかを確認してください。(たとえば、ボタン #4 でスキャンする場合は、LED 画面に 4 と表示されます。このスキャン方法では、Microsoft Paint が起動し、スキャンされた画像は Microsoft Paint のメインウィンドウで表示されます)。

3. スキャナの [Scan] ボタンを押します。

4. スキャンが完了すると、Microsoft Paint が実行され、スキャンされた画像は下図のように Microsoft Paint のメインウィンドウに表示されます。



メモ:
ボタンマネージャの使用法に関する詳細は、付属 CD に含まれるユーザーズマニュアルを参照してください。

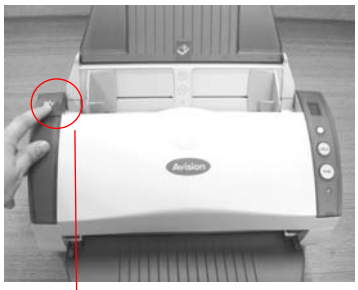
7. お手入れ

7.1 ADFの清掃

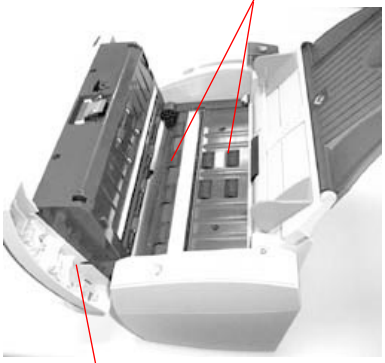
時間が経つにつれ、パッドアセンブリおよび給紙ローラーはインク、トナーや紙の粉などで汚れてきます。この状態ではスキャナーは文書をスムーズに送ることができなくなる可能性があります。この場合、以下の清掃手順に従ってお持ちの装置を元の状態に戻すことができます。

清掃の手順

1) 綿棒をイソプロピルアルコール(95%)に浸します。
2) 左上のプッシュボタンを押します。これでフロントカバーが少し左に開きます。上部ローラーを綿棒で左右に拭きます。指でローラーを回転させ同様に清掃してローラー全体をきれいにします。
3) パッドは上から下に、またはその逆方向に拭きます。この際取り込みスプリングを傷めないようご注意ください。
4) スキャナーのフロントカバーを閉じます。これでスキャナーは使用可能です。



プッシュボタ

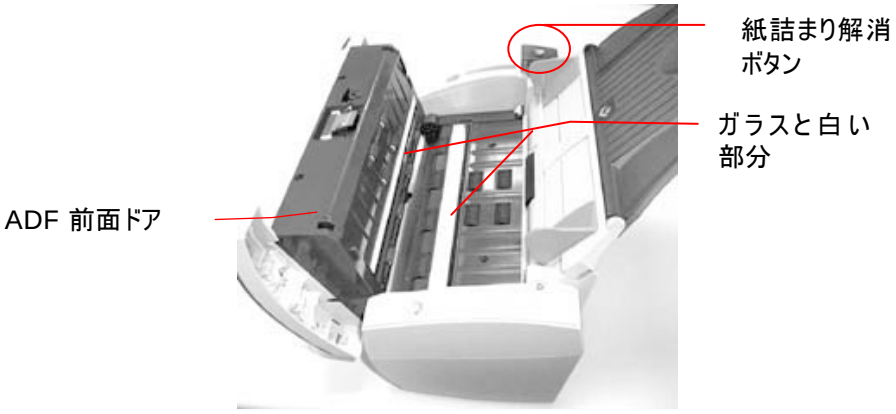


給紙ローラー

フロントカバー

7.2 ガラスのお手入れ

1. 紙詰まり解消ボタンを押します。前面のドアを左へ開きます。
2. 雑巾を少量のイソプロピル・アルコールで湿らせます。(95%)
3. ガラスおよび下図の白い部分を拭き、ホコリなどを拭き取ってください。

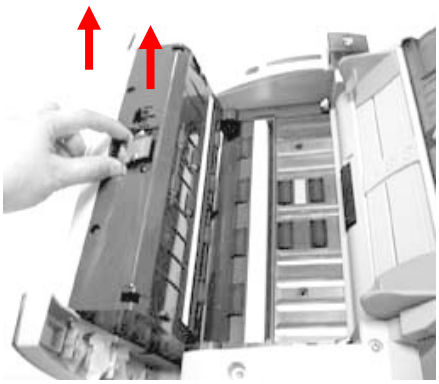


7.3 スナップインパッドモジュールの交換

ADFによるスキャンを約 50,000ページ行うと、パッドは摩耗して文書の給紙に問題が生じる可能性があります。この場合、パッドモジュールの交換を強くお勧めします。パッドモジュールのご注文は最寄りの販売店にご連絡になり、交換の際は下記の手順に従ってください。

分解の手順

1. カバー左上の紙詰まり除去ボタンを押します。
2. ADF フロントカバーを左側に静かに開きます。
3. ADF スナップインパッドモジュールの両端を指で内側に押さえ、ADF スナップインパッドモジュールを引き出します。



取り付け手順

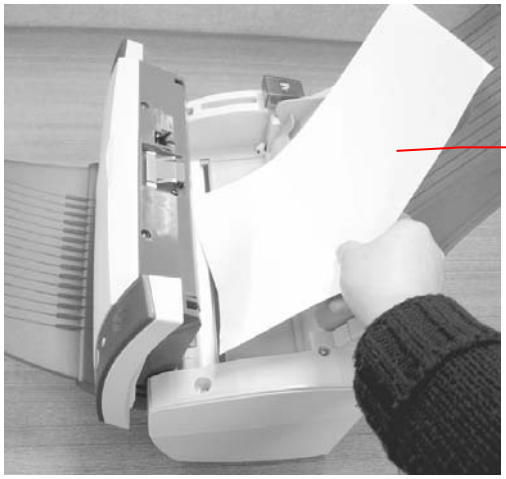
1. ADF パッドモジュールを箱から取り出します。
2. ADF スナップインパッドモジュールの両端を指で内側に押さえます。
3. モジュールを穴の中にカチッと音がするまで入れます。

8. トラブルシューティング

8.1 紙詰まりの除去

紙詰まりが生じた場合は、以下の手順で紙を取り除いてください。

1. 左側の ADF 解放ボタンを押します。スキャナーのフロントカバーを左側に静かに開きます。
2. ADF ユニットから紙を静かに取り去ります。
3. スキャナーのフロントカバーを閉じます。これでスキャナーは使用可能です。


原稿の紙

8.2 質問と答え

質問: スキャン中に紙詰まりが起きました。

答え:
1) スキャナーのフロントカバーを開きます。
2) 詰まった紙を注意して取り除きます。
3) スキャナーのフロントカバーを閉じます。

質問: スキャナーに同時に数枚が給紙されます。

答え:
1) スキャナーのフロントカバーを開きます。
2) 詰まった数枚の紙を取り除きます。
3) スキャナーのフロントカバーを閉じます。
4) 紙の角と縁を揃えます。ペーパーガイドに紙をセットする前にさばいてください。
5) 給紙ローラーの状態をチェックします。必要であれば、セクション5.1にある清掃の手順に従って清掃してください。

質問: 紙がスキャナー内で曲がってしまいます。

答え:
1) スライドガイドにより、紙の方向をまっすぐにします。
2) 給紙ローラーの状態をチェックします。必要であれば、セクション5.1にある清掃の手順に従って清掃してください。

質問: スキャンされたイメージがいつも暗くなるのはなぜでしょう？

答え:
1) ご使用のモニタのガンマ値を1.8に、印刷の際はプリンタ用にガンマ値を2.2に設定します。
2) TWAINユーザーインタフェースの輝度設定を利用して、より明るいイメージに調節します。

質問: スキャナーが紙を検出しない場合がありますが？

答え: スキャナーの紙センサーはペーパーガイドの中央に位置します。スキャンする文書はペーパーガイドに沿って置き、スライドガイドで紙の方向をまっすぐに保ってください。

質問： 光学解像度を600 dpiに設定するとき、「自動クロップ」及び「デスキュー」機能は無効になります。

答え： 自動クロップ及びデスキューは大量のシステムメモリーを消耗します。エラーメッセージを避けるため、これらの機能を実行する際には光学解像度を600dpi以下に調整するようにお勧めします。

8.3 テクニカルサービス

Avisionにご連絡になる前に、下記のデータをご用意ください。

- スキャナーのシリアル・バージョン番号(スキャナー下部に位置します。)
- ハードウェア設定(例：ホストCPUタイプ、RAMサイズ、ディスク空き容量、ディスプレイカード、インタフェースカード)
- スキャンソフトウェアアプリケーション名およびバージョン
- スキャナードライバのバージョン

下記にご連絡ください：

本社

Avision Inc.
No. 20, Creation Road I, Science-Based Industrial Park,
Hsinchu 300, Taiwan, ROC
TEL：+886 (3) 578-2388
FAX：+886 (3) 577-7017
E-メール： service@avision.com.tw
ウェブサイト：http://www.avision.com.tw

米国およびカナダ地区

Avision Labs, Inc.
6815 Mowry Ave., Newark CA 94560, USA
TEL：+1 (510) 739-2369
FAX：+1 (510) 739-6060
E-メール：support@avision-labs.com
ウェブサイト：http://www.avision.com

9. 製品仕様

仕様は予告なく変更される場合があります。

型式番号 :	FF-0609H
スキャナータイプ:	デスクトップシートフィード
光学解像度:	600 dpi * 1200 dpi
スキャンモード:	白黒 グレイ カラー
ADF容量:	最大50ページ
文書サイズ:	レター、リーガル、A4、B5、A5、名刺
最大文書サイズ:	8.5”x14” (ADF)
最大文書サイズ:	3.5”x 2”(ADF)
用紙:	16~28ポンド
インタフェース:	高速USB 2.0
電源:	24Vdc、1.5A
消費電力:	30W未満 (operation) 12W未満 (standby)
オペレーション温度:	5℃から35℃まで
寸法: (WxHxD)	162 mm x 337 mm x 167 mm
質量:	4 kgs